

教員研究業績一覧 (2019.4.1 ~ 2020.3.31)

研究業績の種類と分類番号については、下記の表のようになっています。

A	書籍	書名・訳書名（原著者名） （単著・共著・分担・編著・監修等）	出版社名・頁	年月日
B	研究論文	論文題目・副題 （単独・共著・学術雑誌・紀要・報告書等）	誌名・巻・号・頁	年月日
C	作品・演奏・ 展覧会・発表会・ 競技会等	発表題目（作品種別・大きさ等）	発表会名（会場）	年月日
		曲名（演奏・作曲・指揮等）	演奏会名（会場）	年月日
		種目（順位・記録等）	競技会名（会場）	年月日

発達教育学部

安藤 則夫

- B 1 英語教育におけるアクティブ・ラーニングを支える要因ーアクティブ・ラーニングを学生がアクティブにするための考察ー（共著）. 安藤則夫, 長谷川修治 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.37-48 2020年3月31日

遠藤 隆志

- B 1 慣性センサ式モーションキャプチャを利用した鉄棒運動・逆上がりの運動技能評価の試みーICTを用いた効果的な指導を目指してー（共著）. 遠藤隆志, 加藤悦子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.125-135 2020年3月31日
- B 2 Differential effects of transcranial direct current stimulation on sprint and endurance cycling. Syusaku SASADA, Takashi ENDOH, Tomoya ISHII, Kazuma KAWASHIMA, Shuta SATO, Akifumi HAYASHI, Tomoyoshi KOMIYAMA. Traslational Sports Medicine. in press

加藤 悦子

- A 1 授業で行う合理的配慮のミニアイデア（編著）. 佐藤慎二, 加藤悦子他 明治図書 2019年4月
- B 1 通常の学級における新しい視点での特別支援教育（単著）. 加藤悦子 千葉教育 656号 pp.4-5
- B 2 慣性センサ式モーションキャプチャを利用した鉄棒運動・逆上がりの運動技能評価の試みーICTを用いた効果的な指導を目指してー（共著）. 遠藤隆志, 加藤悦子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.125-135 2020年3月31日
- B 3 「発達障害に関する科目」及び「魔法のプロジェクト参加」によるICT活用可能な教員養成の取り組みー植草学園大学・短期大学での教員養成におけるICT活用の可能性Ⅱー（共著）. 加藤悦子, 佐藤慎二 植草学園短期大学研究紀要 第21号 pp.51-59 2020年3月31日

金子 功一

- A 1 教職に生かす教育心理学（分担）. 石井正子, 中村徳子（編）, 金子功一他 Lesson 9 パーソナリティと教育 pp.125-137 みらい 2019年10月10日
- B 1 教職課程の授業「教育相談」におけるロールプレイの実践的研究：ロールプレイの有効性尺度の構成（共著）. 金子功一, 金子智栄子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.17-26 2020年3月31日

- B 2 過去のいじめ経験が大学生に及ぼす影響Ⅱ：いじめ経験が友人関係と自尊感情に及ぼす影響（単著）．金子功一 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.27-35 2020年3月31日
- B 3 レッジョ・エミーリア・アプローチの音楽創造活動への開発的試み(1): 縄文オペラ〈加曾利貝塚物語〉の創作過程を通して（共著）．川端眞由美，小池和子，渡邊章，三浦達浩，金子功一 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.97-105 2020年3月31日
- B 4 インクルーシブ保育における保育者の葛藤と成長をめぐって（共著）．太田俊己，沖本悠生，金子功一，鶴巻直子，真鍋健 関東学院大学人間環境学会紀要 第32号 pp.41-57
- B 5 学生が体験的に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を学ぶための多様性のある授業の意義Ⅰ（共著）．植草一世，金子功一，松原敬子，栗原ひとみ，園川緑，堀 彰人，山本邦晴，安藤則夫 植草学園短期大学紀要 第21号 pp.37-44 2020年3月31日
- B 6 学生が体験的に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を学ぶための多様性のある授業の意義Ⅱ（共著）．金子功一，山田千愛，植草一世 植草学園短期大学紀要 第21号 pp.45-50 2020年3月31日
- B 7 植草学園大学におけるピア・サポート活動の実践と課題：学内サークル活動から広がる学生の地域連携と生涯学習 学内共同研究第1次研究成果報告書（共著）．栗原ひとみ，古川繁子，金子功一 pp.1-99 2019年3月31日

川口 由起子

- B 1 アスリートにおけるアディクションの実態と問題化に影響する要因の検討（共著）．新井清美，川口由起子，森田展彰，家永昌樹，田中紀子，太原靖一郎，松井隆，山本雅一，稲木千恵，田口禎則 スポーツ精神医学 2019：16 pp.18-30 2019年8月22日
- B 2 道徳的に非難されるメッセージの意図概念と取り消し可能性（単著）．川口由起子，植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.85-96 2020年3月31日

川端 眞由美

- A 1 D. チマローザ，G. パイジェッロ等イタリアの作曲家・演奏家等の項目担当（分担）．川端眞由美 新音楽辞典 人名 海老澤敏，上参郷裕康，西岡信雄，山口修（監修） 音楽之友社 2020年3月（印刷中）
- B 1 レッジョ・エミーリア・アプローチの音楽創造活動への開発的試み（1）— 縄文オペラ《加曾利貝塚物語》の創作過程を通して—（共著）．川端眞由美，小池和子，渡邊章，三浦達浩，金子功一 第12巻 pp.97-105 2020年3月31日
- C 1 縄文オペラ《加曾利貝塚物語》上演．第45回千葉市特別支援教育振興大会 桜木小学校おおぞら学級児童の芸術監督および演奏 千葉市民会館大ホール 2019年11月21日

北田 沙也加

- A 1 幼児教育・保育総論（共著）．久保瑤子，北田沙也加，山田千愛，栗原ひとみ，高木夏奈子，小川翔大，實川慎子，高野良子 高野良子編著 学文社 pp.27-39 2020年3月6日
- B 1 異年齢保育における2歳児の乳児に対する養育的行動—保育士評定による性差，月齢差，きょうだい差の検討—（共著）．北田沙也加，清水由紀 埼玉大学紀要教育学部 第68巻2号 pp.257-267 2019年9月
- B 2 保育の周辺業務における保育現場の負担軽減と地域ボランティアの連携の可能性（共著）．實川慎子，北田沙也加，栗原ひとみ，高木夏奈子，山田千愛，高野良子 植草学園大学研究紀要 第12

巻 pp.49-60 2020年3月31日

- B 3 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか？—保育所の地域環境による違い—（共著）. 山田千愛, 實川慎子, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 北田沙也加, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.73-84 2020年3月31日

栗原 ひとみ

- A 1 幼児教育総論（共著）. 久保瑤子, 北田沙也加, 山田千愛, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 小川翔大, 實川慎子, 高野良子 高野良子編著 学文社 全144頁 担当箇所 pp.52-63
- B 1 植草学園大学におけるピア・サポート活動の実践と課題～学内サークル活動から広がる学生の地域連携と生涯学習～学内共同研究第1次研究成果報告書（共著）. 栗原ひとみ, 古川繁子, 金子功一 pp. 1-99 2019年3月31日
- B 2 地域の高齢者団体と保育所との連携の経緯—手作り玩具製作と歌の交流を通して—（共著）. 實川慎子, 栗原ひとみ 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として 2018年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第2次報告書（研究代表 高野良子） pp.7-11 2019年3月31日
- B 3 保育の周辺業務における保育現場の負担軽減と地域ボランティアの連携の可能性（共著）. 實川慎子, 北田沙也加, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.49-60 2020年3月31日
- B 4 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか？—保育所の地域環境による違い—（共著）. 山田千愛, 實川慎子, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 北田沙也加, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.73-84 2020年3月31日

實川 慎子

- A 1 保育者の連携・協働, 保育者の専門性と子どもの生活（分担）. 實川慎子 最新保育士養成講座 第9巻 保育専門職と保育実践 大方美香, 砂上史子（編） 全国社会福祉協議会 pp.26-44 2019年7月17日
- A 2 幼児教育・保育総論（共著）. 高野良子, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 實川慎子, 山田千愛, 北田沙也加, 小川翔大, 久保瑤子 高野良子編著 学文社 pp.3-4 pp.91-103 2020年3月10日
- B 1 地域の高齢者団体と保育所との連携の経緯—手作り玩具製作と歌の交流を通して—（共著）. 實川慎子, 栗原ひとみ 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究—保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として 2018年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第2次報告書（研究代表 高野良子） pp.7-11 2019年3月31日
- B 2 保育の周辺業務における保育現場の負担軽減と地域ボランティアの連携の可能性（共著）. 實川慎子, 北田沙也加, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.49-60 2020年3月31日
- B 3 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか？—保育所の地域環境による違い—（共著）. 山田千愛, 實川慎子, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 北田沙也加, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.73-84 2020年3月31日
- B 4 音楽を伴ったお手玉遊びによる幼児と高齢者の交流プログラムの試行と課題（共著）. 高木夏奈子, 中野聡子, 實川慎子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.5-16 2020年3月31日
- C 1 乳児保育 2019年度保育士等キャリアアップ研修（講師） 千葉市商工会議所・プラザ菜の花 2019年6月4日・9月3日・11月13日

- C 2 公立保育所・認定こども園・民間保育園の使命と地域社会での役割～地域活動から子どもの育ちを支える～ 千葉市保育協議会若葉区会（講師）千城台公民館 2019年9月9日
- C 3 幼児理解につながる保護者との関係づくり 令和元年度第3回幼稚園教諭（補助）等研修会（講師）浦安市役所 2020年1月7日

高木 夏奈子

- A 1 音楽教育研究ハンドブック（共著）．有本真紀，今川恭子，加藤富美子，高木夏奈子，本多佐保美他 日本音楽教育学会編 音楽之友社 p.152 2019年10月5日
- A 2 幼児教育・保育総論（共著）．栗原ひとみ，高木夏奈子，實川慎子，山田千愛，北田沙也加，小川翔大，久保瑠子，高野良子 高野良子編著 学文社 pp.8-9 pp.64-75 2020年3月10日
- B 1 「お手玉」を活用した幼児と高齢者の交流活動－音楽を伴った「お手玉」遊びを中心とした交流プログラムの試行－（共著）．高木夏奈子，中野聡子 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究－保育・教育・保健医療との有機的繋がりを軸として 2018年度植草学園大学研究ブランディング事業研究成果第2次報告書（研究代表 高野良子）pp.49-52 2019年3月31日
- B 2 幼児の表現活動を支える保育者の歌唱に対する認知－保育者養成における「音痴」克服のピアサポート事例の分析を通して－（共著）．小畑千尋，高木夏奈子，木村升美 宮城教育大学紀要 第54巻 pp.267-276 2020年1月
- B 3 千葉市の一自治会における地域介護予防推進リーダー育成に向けた試み（共著）．中野聡子，高木夏奈子 常葉大学健康科学部研究報告集 第7巻第1号（印刷中）
- B 4 音楽を伴ったお手玉遊びによる幼児と高齢者の交流プログラムの試行と課題（共著）．高木夏奈子，中野聡子，實川慎子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.5-16 2020年3月31日
- B 5 保育の周辺業務における保育現場の負担軽減と地域ボランティアの連携の可能性（共著）．實川慎子，北田沙也加，栗原ひとみ，高木夏奈子，山田千愛，高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.49-60 2020年3月31日
- B 6 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか？－保育所の地域環境による違い－（共著）．山田千愛，實川慎子，栗原ひとみ，高木夏奈子，北田沙也加，高野良子 植草学園大学紀要 第12巻 pp.73-84 2020年3月31日

高野 良子

- A 1 幼児教育総論（編著）．総著者高野良子 学文社 総ページpp.1-144 執筆担当章：序章 pp.1-3，第8章 幼児教育・保育を支える論理と実践－コメニウスからデューイまで pp.104-116 2020年3月10日
- B 1 保育の周辺業務における保育現場の負担軽減と地域ボランティアの連携の可能性（共著）．實川慎子，北田沙也加，栗原ひとみ，高木夏奈子，山田千愛，高野良子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.49-60 2020年3月31日
- B 2 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか？－保育所の地域環境による違い－（共著）．山田千愛，實川慎子，栗原ひとみ，高木夏奈子，北田沙也加，高野良子 植草学園大学紀要 第12巻 pp.73-84 2020年3月31日
- B 3 2018年度研究成果第2次報告書 少子・超高齢化社会における活力あるコミュニティの形成研究（共著）．高野良子，栗原ひとみ，高木夏奈子，實川慎子，山田千愛 植草学園大学ウエッジ研究会 pp.1-82 2019年3月31日

名古屋 恒彦

- A 1 「各教科等を合わせた指導」エッセンシャルブック（単著）. 名古屋恒彦 ジアース教育新社
2019年6月21日

長谷川 修治

- B 1 小学生用デジタル教材で英語力に不安を抱える大学生のリスニング力は向上するか — 英語の教科
化に対応できる小学校教員養成のために —（単著）. 長谷川修治 植草学園大学研究紀要 第12
巻 pp.61-72 2020年3月31日
- B 2 英語教育におけるアクティブ・ラーニングを支える要因 — アクティブ・ラーニングを学生がアク
ティブにするための考察 —（共著）. 安藤則夫, 長谷川修治 植草学園大学研究紀要 第12巻
pp.37-48 2020年3月31日

早川 雅晴

- B 1 事前のトレーニングがなくても身近な野鳥を同定できる「カード式図鑑」（単著）. 早川雅晴 植
草学園大学研究紀要 第12巻 pp.117-124 2020年3月31日

村上 悦子

- A 1 第2章の内容項目15・16・17（分担）. 村上悦子 小学校「特別の教科 道徳」の授業プランと評
価の文例 低学年 渡邊満（編）pp.76-87 時事通信社 2019年10月31日
- B 1 学生の指導技術獲得を目指した「道徳教育指導法」の取り組み — 模擬授業と協議の積み重ねを
通して —（単著）. 村上悦子 植草学園大学研究紀要 第12巻 pp.107-116 2020年3月31日

森高 光広

- B 1 幼・保課程学生の学びを育むサークル活動について（単著）. 森高光広 大学造形美術研究 19号
pp.34-39
- B 2 読書感想画実践に向けて—その意義と具体的な手立て（単著）. 森高光広 学校図書館 10月号
No.828 学校図書館協議会 2019年10月 pp.40-43
- C 1 講演「読書感想画指導について」 第35回関東地区学校図書館研究大会 千葉工業大学津田沼キャン
パス 2019年8月9日
- C 2 講演「読書感想画の指定図書についての指導」 市川市学校図書館部会研究会 2019年10月9日
- C 3 講演「中央コンクール審査結果講評」 第31回読書感想画中央コンクール表彰式 2020年2月28
日

山田 千愛

- A 1 幼児教育総論（共著）. 高野良子, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 實川慎子, 山田千愛, 北田沙也加,
小川翔大, 久保瑤子 高野良子編著 学文社 pp.4-5 pp.40-51 2020年3月10日
- B 1 子どもと保育者はどのように地域の身近な人と関わっているか? — 保育所の地域環境による違い —
（共著）. 山田千愛, 實川慎子, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 北田沙也加, 高野良子 植草学園大学紀
要 第12巻 pp.73-84 2020年3月31日
- B 2 保育の周辺業務における保育現場の負担軽減と地域ボランティアの連携の可能性（共著）. 實川慎
子, 北田沙也加, 栗原ひとみ, 高木夏奈子, 山田千愛, 高野良子 植草学園大学研究紀要 第12
巻 pp.49-60 2020年3月31日

- B 3 授業や学修活動において学生が体験的に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を学ぶための多様性の意義Ⅱ（共著）. 金子功一, 山田千愛, 植草一世 植草学園短期大学紀要 第21号 pp.45-50 2020年3月31日

保健医療学部

倉山 太一

- B 1 ヒップウォークと歩行における体幹筋活動の比較 — 健常者における基礎的検討(共著). 倉山太一, 芋川雄樹, 松田雅弘. 総合リハビリテーション 47 巻 10 号 pp.1015-1019. 2019年10月10日
- B 2 第13回国際リハビリテーション医学会世界会議 (ISPRM) 参加報告 (単著). 倉山太一. バイオメカニズム学会誌 43 巻 4 号 pp.265. 2019年11月1日
- B 3 Insensitivity of auditory mismatch negativity to classical fear conditioning and extinction in healthy humans. Kurayama T, Matsuzawa D, Hirano Y, Shimizu E. Neuroreport. 30(7) pp. 468-472. 2019.

桑名 俊一

- A 1 コスタンゾ明解生理学 原著第6版 林俊宏, 高橋倫子(監訳). 桑名俊一 第5章呼吸の生理学(翻訳) pp207-269, エルゼビア・ジャパン株式会社 2019年9月20日
- B 1 CSD is accompanied by mitochondrial oxidization wave revealed with Flaboprotein autofluorescence Hitoshi Maeda, Kohta Terada, Sohta Katohno, Syunichi Kuwana. 9th FAOPS Program Book, 2P-286, pp. 238, 2019

前田 仁士

- B 1 CSD is accompanied by mitochondrial oxidization wave revealed with Flaboprotein autofluorescence Hitoshi Maeda, Kohta Terada, Sohta Katohno, Syunichi Kuwana. 9th FAOPS Program Book, 2P-286, pp. 238, 2019